

●久御山町東一口の内田農園を訪問 10月10日(金)

最初に亀岡市でのサッカー場建設地とされたところは天然記念物であるアユモドキが生育しているので変更されました。そして元の候補地は亀岡保津川公園とされ、その一部をハスの田圃にするためのノウハウを学ぶために、亀岡市職員や業者さんなどと内田さんの農園をお伺いをさせていただきました。内田さんは先代の時代から巨椋池に生育していたとされるハスを維持され、特別天然記念物のムジナも栽培維持されていきました。現在は農産物の洗い場を前にした蓮池で大切に先代からのハスを管理されています。亀岡市では今年一反程度の予定地が計画されて蓮根の植付けの開始を目指しておられる様です。少なくとも10本ぐらいが適当で、徐々に増えていくのではないかと助言がありました。また開花すれば交雑も考えられるので花見などの計画の場合はよく検討すべきだともお話がありました。蓮根栽培に必要なとおきの道具を見せていただき大変学習になりました。里山の会からは太田さんと山村さんが参加し、竹門先生もご参加いただきました。



●同志社大学サッカー部ボランティアの関俊太郎さんからご連絡と要望が届きました。

木津川堤防の集草作業のみでは単純すぎるので里山の会らしい作業の工夫が無いのでしょうかとのことでした。これまでは里山農園で丸山の草刈り作業や白土山洞窟への周遊通路の開削作業を行って、この2年間は木津川堤防の集草作業を手伝っていただいて来ました。要望に応えるためには農作業がいいのではないだろうかと思案をいたしました。



- ①大根の収穫（お土産にお持ち帰りしていただく分量）
- ②そら豆・えんどう豆の手入れ（柵や釣り手づくり）
- ③時期的に遅い（玉ねぎの植付）
- ④②のための杭制作
- ⑤炭焼き用の原木の切り出し（厳しい危険性がある）
- ⑥餅つき（新米で 準備が大変）などの作業が考えられました。その他尾根筋ハイキングルート of 年末清掃（ごみ拾い・3.7km）

いずれも参加人数が分かれば検討してみたいボランティア作業が見つかると思います。

●岐阜県の森林救援隊の活動視察と中部地方整備局木曾川上流河川事務所でイタセンパラの現状説明 11月20・21日(木・金)

世界最大級の淡水魚水族館の見学と国宝犬山城を訪問できればと計画しています。森林救援隊は放置竹林を整備し竹炭生産や竹酢液の生産販売を行なっておられます。木曾川上流河川事務所はイタセンパラの取り組みの現状と課題についての説明をお願いしています。年度末予算編成査察

の準備で多忙のところ、説明の時間(20日)をいただきました。計画している内容は随分欲張ったものですがかなり充実したもので、世界屈指の淡水魚水族館(アクアトトぎふ)は一見しておくべき施設です。そしてイーエスピー企画の社長さんはドローンの技術開発で日本屈指の方で最先端のお話を頂けるものと期待しています。なかなか都合を付けられない中ではしょうが万障繰り合わせてご参加をお願いいたします。有田・山村に電話ください。

●竹蛇籠製作講習会を行います。

先日のいきものフェスで竹蛇籠製作を6本作ればと見込んでいましたが3本しか作れませんでしたので、①11月8日と②22日(土)に玉水橋広場で午前9時から製作をいたします。全長7mの竹蛇籠を12本製作を目標に掲げています。出来上がった製品を木津川に昨年と同じように2月初旬に将棋頭型水制として設置いたします。今回の設置場所の決定は淀川河川事務所(木津川出張所)の指導を受けて実行しようとしています。

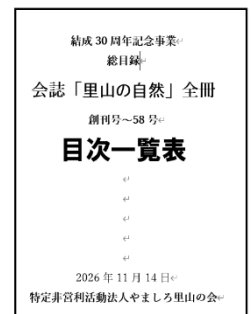


●松かさツリーの組み立てを16日(木)13:00から草内倉庫で実行します。

これまで製作をして来た作品は「山城ごちそうフェスタ」「第3回京都いきものフェス」で全てが完売となってしまいました。本日(16日)は150組から200組を目標として作り上げたいと思っています。この数を完成させるには相当頑張らなければ出来ない高い目標です。参加いただく方は森島、太田、金田、播川さんの4人なので厳しいと予想しています。どなたでも協力をしてやろうとお考えがある方の積極的な参加をお願いいたします。松かさツリーづくりの台木や柱(芯の棒)づくりなどの素材や、竹鉛筆の竹割や寸法切りなどの作業はそれほど難しい作業ではなくてやってみれば簡単に出来るものですのでぜひお願いいたします。多くの皆様のご協力で素材がしっかり揃えられるようになれば随分進歩したことになるのではないのでしょうか。お力添えを切にお願いいたします。事務所に電話をお願いいたします。

●会誌「里山の自然」の総目録の編集の進捗状況は「目次の集約」が全体(創刊号から58号)まで進められました。

日常作業を行いながら65日かかって175頁文の全ての目次が集約できました。これから見やすくする編修の手直しの段階に到達しています。そして総目録として最も大切な「各項目の拾い出し」は30号まで進み58号まで残り28冊分になりました。これまでの作業からは頭書のように大量の読み取りはしなくても進められるのではと見通しをしています。出来れば皆様のご協力が得られればさらに順調に進展するのではないのでしょうか、ご協力をお願いします。一冊でも読みとっていただけますと相当助かります。



(案)

●木津川希少種植生調査管理業務の除草作業の後期の作業が開始されました。

35ヶ所16000m²でレンリソウ等絶滅寸前の植物の維持管理保全を目的にした取り組みです。昨年も10月15日から作業を開始しました。作業は八幡市の旧八幡東小学校裏から手を付けました。今作業の先頭に立ってくださっているのは森島副理事長と太田さんです。